

[1010/4B-030-001]

Ver.15

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4B.甲状腺ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4B030 T4(サイロキシン) [血清]

## T4(サイロキシン)

[血清]

thyroxine

連絡先 3764

患者同意について

検査結果に影響を与える臨床情報

オーダーボタン名(検体)

1010

001

T4

検査予約

至急オーダー

不可

検査オーダーに関する注意事項

患者の検査前準備

検体採取のタイミング

ラベル見本(検体)(単項目オーダー時)

キョウダ イテスト

注 80 外



セカ2.



血液

中検外1

\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_-55002

\*\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*\_\*

C6

6ml

ラベル見本(細菌)(単項目オーダー時)

採取容器・検査材料

[1010/4B-030-001]

Ver.15

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4B.甲状腺ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4B030 T4(サイロキシン) [血清]

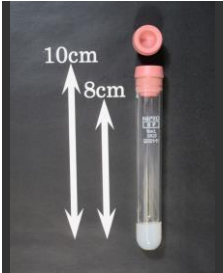
## T4(サイロキシン)

[血清]

thyroxine

連絡先 3764

01	C6	凝固促進剤 + 血清分離剤(ピンク)	
採取材料	血液	採取量	6 mL
遠心分離		遠心	
測定材料	血清	測定必要量	0.4 mL



採取容器について

検体採取について

採取後検体の取扱い

検体搬送について

採取検体の保存条件

	保存検体種	優先 保存条件	保存条件1		保存条件2		保存条件3	
			温度	安定性	温度	安定性	温度	安定性
01	血清	保存条件1	冷蔵	12 週				

受入不可基準

溶血	検体凝固	強乳び	採取量過不足	採取容器違い
尿材料違い	冷蔵保存なし	遮光保存なし	開栓	黄疸

検査に要する時間(生理検査)

再検査・追加検査の対応可能日数

検体到着日から60日間 (検体量ある場合のみ) &lt;br /&gt;

(分析物の安定性については「採取検体の保存条件」を参照)

検体採取に関する注意事項・検査の実施に関する注意事項

検査機器

&amp;nbsp;

[1010/4B-030-001]

Ver.15

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4B.甲状腺ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4B030 T4(サイロキシン) [血清]

## T4(サイロキシン)

[血清]

thyroxine

連絡先 3764

検査所要日数	2～3日
--------	------

検査部門・委託先	外部委託 (LSIメディエンス)
----------	------------------

検査部門(平日時間内)	
-------------	--

検査部門(時間外・休日)	
--------------	--

検査結果報告について

基準値設定材料・検査方法

基準値設定材料	血液
検査方法	電気化学発光免疫測定法 (ECLIA)

生物学的基準範囲

		男性	女性	単位
00	T <sub>4</sub> (サイロキシン)	6.10 - 12.40	6.10 - 12.40	μg/dL

基準値情報

緊急異常値

電話連絡対応

臨床的意義

総サイロキシン (T<sub>4</sub>) は甲状腺で合成されるホルモンであり、生体の基礎代謝を高める機能をもつ。分子中にヨードを4分子もつ甲状腺 (Thyroid gland) ホルモンであることから T<sub>4</sub> と呼ばれる。T<sub>4</sub> は、もう一つの甲状腺ホルモンであるトリヨードサイロニン (T<sub>3</sub>) と異なり100%甲状腺で作られ、99%以上がTBGを主要とする甲状腺結合蛋白と結合している。血中濃度においてはT<sub>4</sub> はT<sub>3</sub> の約50倍程度存在するが、相対的な生物活性は低い。T<sub>4</sub> の血中レベルは、視床下部 (TRH) -下垂体 (TSH) -甲状腺 (T<sub>3</sub>, T<sub>4</sub>) 系のネガティブフィードバックにより調節されており、甲状腺機能異常を疑うとき、また甲状腺疾患の治療経過の追跡目的で使用される検査である。T<sub>4</sub>, T<sub>3</sub> は、甲状腺ホルモン結合蛋白 (TBG, TBPAなど) の増減によって影響を受け、真の甲状腺機能を反映しない場合があるため、現在ではほとんど FT<sub>4</sub>, FT<sub>3</sub> が用いられている。

異常値を示す病態・疾患

高値を示す病態&lt;br/&gt;甲状腺機能亢進症 (Basedow病など), 破壊性甲状腺炎 (亜急性甲状腺炎など),

[1010/4B-030-001]

Ver.15

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4B.甲状腺ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4B030 T4(サイロキシン) [血清]

## T4(サイロキシン)

[血清]

thyroxine

連絡先 3764

TBG増加症, 甲状腺ホルモン不応症 (Refetoff症候群) など<br />低値を示す病態<br />甲状腺機能低下症 (橋本病など), TBG減少 (欠損) 症など

## 参考文献

LSIメディエンス 検査要項

最新 臨床検査項目辞典 第1版, 2008

## JLAC10

分析物	4B030	T4(サイロキシン)
識別	0000	
材料	023	血清
測定法	053	化学・生物発光イムノアッセイ (ECLIA)

## 変更履歴

Ver	文書更新日	変更適用日	内容
1	2008/04/01	2008/04/01～	制定
2	2016/04/25	2016/04/01～	平成28年度診療報酬改定
3	2017/03/21	2017/02/23～	検体ラベル表記変更[R]⇒[ ]
4	2018/04/06	2018/04/01～	平成30年度診療報酬改定
5	2020/04/02	2020/04/01～	令和2年度診療報酬改定
6	2020/07/03	2020/07/03～	ビオチン大量服用患者の留意事項を追記
7	2020/10/22	2020/10/22～	ビオチン干渉項目に関する案内文を改訂
8	2021/03/12	2021/03/10～	外部委託化のため全面改訂
9	2021/08/02	2021/05/27～	採血容器変更
10	2021/08/27	2021/08/02～	ビオチン干渉を改良した試薬に変更
11	2022/03/09	2021/12/09～	採取名称部分に検体搬送先を印字

[1010/4B-030-001]

Ver.15

4.内分泌学的検査 &gt;&gt; 4B.甲状腺ホルモンおよび結合蛋白&gt;&gt;4B030 T4(サイロキシン) [血清]

**T4(サイロキシン)****[血清]**

thyroxine

連絡先 3764

12	2022/08/01	2022/04/01～	令和4年度診療報酬改定
13	2022/12/01	2022/12/01～	受入不可基準などについて全面改訂
14	2023/12/21	2023/12/21～	必要検体量を追記
15	2024/06/04	2024/06/01～	令和6年度診療報酬改定